ちいきのわだい



郷土の詩人 藤森秀夫をしのび

5/5 童謡まつり

豊科出身の詩人·藤森秀夫をしのぶ「第46回童謡祭り」が5月5日、豊科公民館で開かれました。この日は約600人が集まり、藤森氏が作詞した童謡「めえめをえる団体」を全員で合唱。その後、各団体の演奏の披露、作詞作曲コンクールの表彰、声楽家・家田紀子さんのコンサートが開かれました。実行委員会長の山本紘子さん(豊科南穂高)は、「安曇野の幅広い年代の皆さんが集い、童謡や日本の名歌を歌う場、聞く場として、イベントをさらに発展させたい」と抱負を話しました。



街道彩る 協働の力

5/30 アルプス花街道 定植作業

アルプス花街道(実行委員会主催)の 定植作業が5月31日、豊科IC南の道 路沿いなどで行われました。この事業は 道沿いにマリーゴールドなどを育て、安 曇野を訪れる人を歓迎しようと平成8年 に旧豊科町で始まりました。今年は83 団体、1360人が参加。明科の団体も加わっ たことで、全市的な取り組みに発展しま した。実行委員会では8月23日に取り 組みをPRする催しを計画しています。

第13分団1部と第1分団が優勝

6/7 市消防団ポンプ操法大会

安曇野市消防団ポンプ操法大会が6月7日、市内の王子 チョダコンテナー(株)敷地で実施されました。

この日はポンプ車操法の部に9チーム、小型ポンプ操法の部に7チームが参加し、仕事の傍ら練習に励んできた選手の皆さんが、操作の迅速さ・正確さを競い合いました。ポンプ車操法の部は、第13分団第1部(堀金)が優勝し、第13分団第2部(堀金)が準優勝、小型ポンプ操法の部は第1分団(豊科)が優勝、第4分団(豊科)が準優勝となり、この4チームは6月28日に塩尻市中央スポーツ公園で開催される松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会へ出場します。

ポンプ車操法の部優勝の第13分団第1部1番員の伊藤 嘉一さんは、「大会が近づくにつれプレッシャーが高まっ た。技術が向上したのもOBや仲間の指導と声援があった からだと思っています。家族や友人の支えにも感謝してい ます。次も頑張る」と疲れも見せず意気込みを話してくれ ました。



広がる 玉ねぎの輪

6/13 安曇野とよしな玉ねぎ祭り

玉ねぎの収穫体験や直売を行う「安曇野とよしな玉ねぎ祭り」が6月13日と14日、豊料と堀金地域の11会場で開かれました。

堀金中堀公民館近くの会場では、開会前から多くの人が集まり、参加者は新玉ねぎの収穫体験に汗を流しました。毎年、参加している百瀬忠範さん(松本市)は、「今年も友人に誘ってもらったので、早めに出掛けてきました。妻がいろいろな料理にしてくれるので今から楽しみです」とうれしそうに話してくれました。

玉ねぎは詰め方次第で、ネットに 20^{*}。 以上入るとのこと。参加者の皆さんの多 くは、一つ一つていねいに葉を切りそろ え、ネットに詰めていました。

この祭りは、地元の集落営農組合を中心に平成10年から開催されています。玉ねぎづくりとその販売を通じて、組合員同士の輪、生産者と消費者の輪は、毎年広がりを見せています。



思いも実る リンゴの木

5/31 りんごの木のオーナー 開園式

りんごの木のオーナー開園式(市観光協会主催)が5月31日、三郷公民館で開かれ、全国各地から集まった1208件の申込者が、それぞれが選んだ木にプレートを取り付けました。

この制度は、昭和63年に旧三郷村で始まり、 現在は21園の1454本の木が対象。日常の管理は園主が行い、オーナーは収穫などの作業 が体験できます。15年前からのオーナー・当 摩信蔵さん(77・さいたま市)は、「こちらの リンゴは私の自慢。孫が幼かったころから通っ ていて、思い出が詰まっている」と話してく れました。収穫祭は11月上旬から中旬に予定 されています。



原風景 レンゲ田を復活

5/24 常念の里れんげ祭り

田植えシーズンも終盤に差し掛かった5月24日、堀金と穂高地籍にまたがる「れんげの里」で「常念の里れんげ祭り」が行われました。不安定な天候の中、レンゲ田に設けられたステージでは、堀金常念太鼓の演奏・よさこい演舞隊ソーレあづみのの踊りが披露されました。会場内では、宝捜しゲームや乗馬体験もあり、会場を訪れた約600人が日曜のひとときを楽しみました。主催した「安曇野堀金『れんげの里』づくりプロジェクトチーム」は、昨年4月に安曇野の原風景といえるレンゲ田を復活させることを目的に発足され、高校生を含む35人で活動しています。祭りの開催された周辺では、8月にひまわりが咲く予定です。

11 広報 **あ**づみの 2009.6.24 広報 **あ**づみの 10